

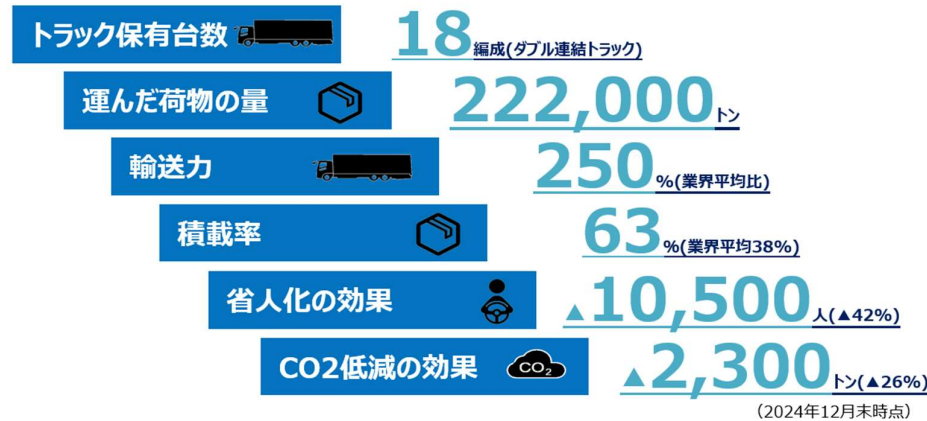
## NEXT Logistics Japan、事業開始5年で 東京ドーム56個分のCO2排出量削減と1万人分のドライバー 省人化を達成

～より少ないドライバーとトラックでより多くのモノを運び、2024年問題と環境課題解決に貢献～

NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:梅村幸生、以下 NLJ)は、物流の社会課題解決を目指して2019年12月に事業を開始し、このたび5周年を迎える運びとなりました。この節目に際し、日頃よりご支援いただいている皆様へ心より感謝申し上げます。

この5年間で、物流の社会課題解決に向けた志を共有する、業種・業界を超えたパートナー・株主企業<sup>※1</sup> および NLJ Plus+会員<sup>※2</sup>との協業により、約10,000人分<sup>※3</sup>のドライバー省人化を実現するとともに、東京ドーム56個分のスギ林(約26万本)が1年間に吸収するCO2量<sup>※4</sup>に匹敵する、約2,300トンのCO2排出量削減<sup>※3</sup>を達成しています。

### 2019年12月の事業開始以来5年で、着実に社会課題解決に寄与



NLJ は今後も、持続可能かつ生産性の高い物流の実現を目指し、株主や会員の皆さまと一緒に、オールジャパンでの取り組みを視野に、最先端の物流に挑戦してまいります。「当たり前」に届く安心」を次世代に繋ぐため、引き続き皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

### 代表取締役社長 CEO 梅村からのコメント

2019年、より少ないドライバーとトラックでより多くのモノを運ぶ取り組みの第一歩として、ダブル連結トラックを活用した異業種混載の運行を開始しました。以来5年、物流最適化システム「NeLOSS(ネロス)」の実装をはじめ、リアルとデジタルの両面から効率化に取り組んでまいりました。共に歩んでいただいているパートナー・株主企業、NLJ Plus+会員の皆さま、そして関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。これからも、日本経済を支える物流業界をより魅力的で発展的なものにするため、全力を尽くしてまいります。

※1 アサヒグループジャパン株式会社、江崎グリコ株式会社、岡通ホールディングス株式会社、株式会社ギオン、株式会社キューソー流通システム、鴻池運輸株式会社、澁澤倉庫株式会社、鈴与株式会社、住友ゴム工業株式会社、住友商事株式会社、摂津倉庫株式会社、千代田運輸株式会社、トランコム株式会社、株式会社ニチレイロジグループ本社、日清食品ホールディングス株式会社、日本梱包運輸倉庫株式会社、日本製紙物流株式会社、日野自動車株式会社、株式会社ブリヂストン、みずほキャピタル株式会社、三菱 HC キャピタル株式会社、三菱 UFJ キャピタル株式会社、株式会社三菱 UFJ 銀行、未来創造キャピタル株式会社、株式会社ユーネットランス

※2 NLJに出資するパートナー企業と共に培ってきた物流最適化のソリューションについて、出資を伴わずに年会費で活用いただける枠組み

※3 弊社調べ

※4 東京ドームの面積 約 4.68ha、植林密度 1000 本/ha と仮定

## <問い合わせ先>

NEXT Logistics Japan 株式会社 経営企画本部 経営企画・管理 Div. TEL:03-6911-1691

以上